

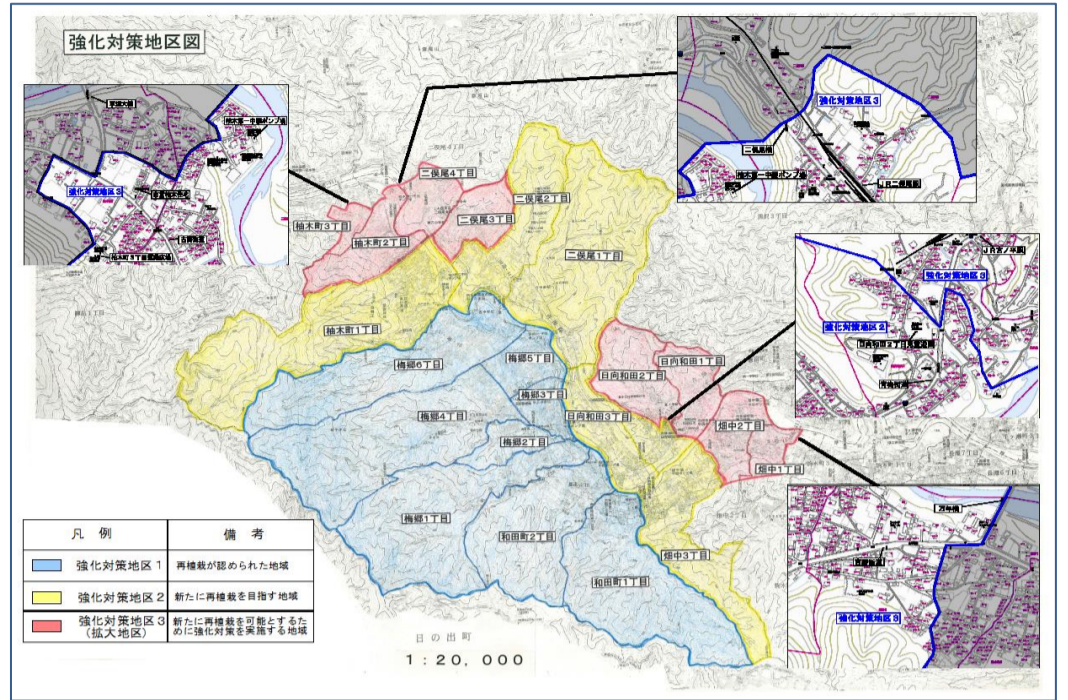
基本目標2 青梅に暮らし、働き、訪れる人々にとって魅力あふれるまちを創出

梅の里再生事業

梅郷・和田町全域については、平成28年度に続き平成29年度も条件付きの植栽が認められ、農地や梅の公園等に梅樹1,343本(累計4,056本)が植栽された。
平成30年度も引き続き同地区内への植栽を実施する。
事業の財源確保のため、地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について「青梅市梅の里再生プロジェクト」が対象事業として内閣府から認定された。

☆課題

梅郷・和田町周辺地区において実施しているウイルスまん延防止のための事業を継続実施し、再植樹可能なエリアの拡大について国から認可を得る。



**商・工業振興プラン推進
(買い物環境の向上：北部・西部地域)**

市民の買い物環境の向上の一環として、株式会社ローソンと「買い物環境向上に対する連携協定」を締結し、平成29年10月から成木地区の10か所で毎週水・金曜日に移動販売を実施している。

☆課題

民間事業者と連携した、北部・西部地域のさらなる買い物環境の向上



○平成29年度の連携プログラム実績

Hotman

→ 紅梅園 饅頭1個プレゼント 96人(推定)

レシート

→ 塩船観音寺 だんご1本プレゼント 8人

→ 岩蔵温泉郷 日帰り入浴料を
600円に割引 9人

おうめ！観光戦略創造プロジェクト

・市内の企業と協力店との連携により、市内を散策してもらうプログラムを実施。
市外からの来客が多いホットマン感謝祭と連携し、レシートを協力店に提示することで特典を受けられる企画を実施した。
平成30年度についても実施予定。
・「OmeBlue(青梅ブルー)」の取組拡大
公式ホームページ、フェイスブック、インスタグラムの活用によるコミュニケーションチャネルの拡大など。

☆課題

企業と協力店との連携に関して、協力店の数を増やしていくことによる、観光客の回遊性向上。

OmeBlueサポーター(取り組みへの参加者)の拡大。



梅郷・和田町